東京国税局管内納税貯蓄組合連合会　優秀賞

税金は笑顔のための支え愛

船橋市立坪井中学校
第二学年　土居　愛莉

私は茶道部に所属している。先日、公民館の和室で、卒業茶会を開催した。三年生がこれまでの総仕上げとして、家族を招いてお点前を披露したのだ。私達二年生は、水屋でそのサポートをした。先輩達の姿はとても美しく、ご家族の皆様も微笑ましくその姿を見つめており、とても温かみのある空間に包まれていた。

私達の学校にも和室はあるが、部員数の割に狭く、ましてや家族をお客様として招くことは広さの面から考えても難しい。その点、公民館の和室は広く、床の間もあり、茶室としての設備が整っている。そういったきちんとした場所は特別感もあり、集大成としての卒業茶会を開催するのにふさわしいと思った。このような施設が近くにあり、利用できたことがうれしく感じた。この公民館は、税金でできている。あの温かみのある空間は、世の中の人々の税金のおかげでもたらされたのだ。世の中の人々に対し、感謝の気持ちが沸いてきた。

税金でできている施設といえば、公民館のすぐ近くに児童ホームがある。私も小学校の頃によく利用したものだ。児童ホームへ行けば、卓球台や体育館もあり、家ではできない遊びができる。お絵かきや折り紙などをよくやったことも覚えている。雨の日でも遊ぶことができ、子ども達の笑顔であふれていた。母は私が赤ちゃんの頃、児童ホームへよく連れて行ってくれたそうだ。私が初めて社会デビューした場所、母が初めてママ友を作った場所だ。そんな初めてを支えてくれたのが税金なのである。

税金の使われ方について改めて考えてみると、税金は施設だけでなく、私達の生活をいろいろなところで支えてくれていることに気づかされる。

先日、体調が悪くなり病院へ行った。病院へ行って先生に診てもらえると、とても安心する。私達子どもには医療費助成受給券があり、三百円で受診することができ、お薬代は無料である。私達の健康や安心も税金で守られているのである。

私は、税金によってたくさんの笑顔や安心を得ていると感じる。自分一人ではできないことも、みんなから税金を少しずつ集めることによって大きな力となり、実現できるのである。とても尊い仕組みである。世の中のより多くの人々が、安心して笑顔で暮らせるようにするために、愛にあふれ、感謝の気持ちを忘れずに支え合っていく社会を実現していくことが大切であると考える。まさに、税金は笑顔のための支え愛である。